

一番町で、美術を身近に感じる。
MACHI-NAKA ART LECTURE

まちなか 美術講座

宮城県美術館
THE MIYAGI MUSEUM OF ART



東北工業大学一番町ロビー
TOHOKU INSTITUTE OF TECHNOLOGY ICHIBANCHO LOBBY

全4回

定員120名・入場無料 ご自由にご参加ください。

●問い合わせ

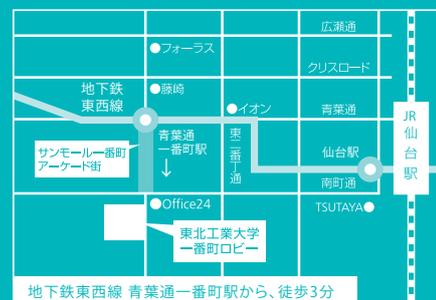
宮城県美術館 The Miyagi Museum of Art

〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1
TEL 022 -221-2111 / FAX 022 -221-2115
<http://www.pref.miyagi-gi.jp/site/mmoa/>

●会場

東北工業大学一番町ロビー 2階ホール

〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-3-1TMビル
TEL 022 -723-0538 / FAX 022 -263-8606
<http://www.tohtech.ac.jp/>



まちなか美術講座

宮城県美術館で開催される特別展や
テーマ展示についてお話しします。

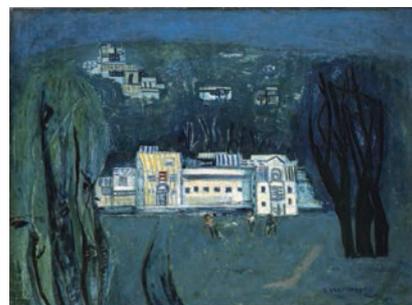
コレクションの、再発見

■ 第50回 2017年 5月20日(土) 13:30-

講師 和田浩一 (宮城県美術館学芸部長)

宮城県美術館は平成28年で35周年を迎えました。その間に収集された作品(コレクション)の中から、東北にゆかりのある作家の、洋画と版画に焦点をあてる初の試みが「コレクション再発見」展です。この講座では、展覧会に出品される大正から現代までの、地域に根ざした作品の中から、代表的なものを紹介します。それが、様々な「再発見」へとつながる機会になればと思います。

「コレクション再発見 東北の作家たち 洋画/版画」
2017年4月29日(土・祝)~7月17日(月・祝) 休館日:月曜日(5月1日、7月17日は開館)



松本峻介《郊外》1937年 宮城県美術館蔵

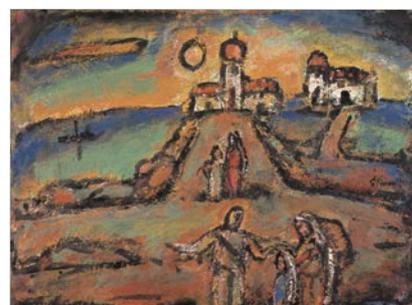
ルオーとその時代

■ 第51回 2017年 9月23日(土・祝) 13:30-

講師 赤間和美 (宮城県美術館学芸員)

20世紀を代表する画家のひとりジョルジュ・ルオー(Georges Rouault, 1871~1958)は、サーカスやキリストなどを描き続け、晩年にかけて独特な色彩感覚と濃密なマチエールで人々を惹きつけてきました。彼が生きた時代、パリでは「フォーヴィスム」が起こり前衛的な画家たちが現れます。本講座では、表現への情熱が高まった20世紀初頭に焦点をあてて、ルオーの魅力について解説します。

「ルオーのまなざし 表現への情熱」
2017年8月12日(土)~10月9日(月) 休館日:月曜日(9月18日、10月9日は開館)、9月19日(火)



ジョルジュ・ルオー《秋の夜景》
1952年 パナソニック汐留ミュージアム蔵

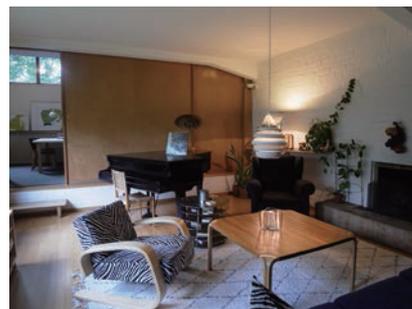
北欧・フィンランドの暮らしとデザイン~プロダクトと建築から

■ 第52回 2017年 12月2日(土) 13:30-

講師 石井敏 (東北工業大学工学部建築学科・教授)
梅田弘樹 (東北工業大学ライフデザイン学部クリエイティブデザイン学科・教授)

2017年、独立100周年を迎える北欧・フィンランド。近年、大きな注目を浴びるフィンランドデザインは、過酷で厳しい歴史や自然の中から生み出されてきました。フィンランド人の暮らしや考え方と直結するフィンランドデザインの姿を、プロダクト(製品)デザイン、街や建築などの空間デザインから読み解きます。フィンランドでの生活体験のある講師2名による講演会です。美しい自然や製品、建築の写真とともに解説します。

「フィンランド独立100周年 フィンランド・デザイン展」
2017年10月28日(土)~12月24日(日) 休館日:月曜日



Alvar Aalto自邸(撮影:石井敏)

求道の画家 岸田劉生と椿貞雄—その情熱と友情

■ 第53回 2018年 3月10日(土) 13:30-

講師 加野恵子 (宮城県美術館学芸員)

1915年に草土社を結成し、「切通之写生」や麗子像の連作を発表した岸田劉生(1891~1929)。その「内なる美」を深く追求した写実表現は、若き画家たちに影響を与え、当時の画壇に一石を投じました。米沢生まれの椿貞雄(1896~1957)は19歳で草土社の創立同人となり、劉生が鶴沼に転居すると、自身も移り住んで行動をともにするなど、とりわけ劉生の身近で、影響を受けたひとりです。二人の絵画への情熱と友情と、その芸術を紹介します。

「求道の画家 岸田劉生と椿貞雄」
2018年1月27日(土)~3月25日(日) 休館日:月曜日(2月12日は開館)、2月13日(火)



岸田劉生《童女図(麗子立像)》
1923年 神奈川県立近代美術館蔵